

CASBEE® 京都-新築

標準システム 評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE京都-新築 (2015年版) | 使用評価ソフト: CASBEE京都-新築2015 (v.1.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 京都五条大宮計画	階数	地下1階 地上8階
建設地	京都市下京区南門前467番	構造	S造
用途地域	近隣商業、防火、準防火、25m第4種高度、沿道美観形成	平均居住人員	122 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2018年9月 予定	評価の実施日	2017年7月1日
敷地面積	570 m ²	作成者	木元健太
建築面積	470 m ²	確認日	2017年7月3日
延床面積	3,234 m ²	確認者	平野哲也



2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)

BEE = 0.8

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ BEE=1.0 C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂ (温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

① 参照値	100%
② 建築物の取組み	88%
③ 上記+②以外の	88%
④ 上記+	88%

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物 (参照値) と比べたライフサイクルCO₂ 排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)

2-4 中項目の評価 (バーチャート)

Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.9

音環境	3.3
温熱環境	2.3
光・視環境	2.6
空気質環境	3.8

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.4

機能性	2.2
耐用性	2.9
対応性	2.1

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア = 2.1

生物環境	1.0
まちなみ	3.0
地域性	2.0

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.7

建物外皮の	4.0
自然エネ	3.0
設備システ	4.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.9

水資源	2.2
非再生材料の	3.1
汚染物質	3.0

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.8

地球温暖化	3.4
地域環境	2.1
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合	その他	
・省エネルギーに優れた環境。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
・内装材にはすべてF☆☆☆☆製品の使用。 ・建具の遮音性能T-2.	・インターネット利用。	
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・太陽光発電設備を設置。 ・LED照明使用。	・地域産木材使用。	

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される